

書 面 3

しおさいの里：本多様

アニマルライトセンター

東京都町田市中町1-5-3-401

fax 0427 (27) 6097

全頭無料での不妊去勢手術に関して

10月初旬に、本多さんから山口獣医師にお電話を頂いた旨伺いました。その際に、愛護団体との関係は持ちたくないとお話をされたと聞いております。しかし、今回の手術の申し出は、山口獣医師個人の申し出ではなく、アニマルライトセンターとの共同のものであることをご了解下さい。

まず始めに、山口獣医師のご承諾を得てアニマルライトセンターが、犬達の不妊去勢手術の申し出を行なった経緯からお話いたします。貴会「しおさいの里」発足当初から、多くの動物愛護・保護団体が心配していたことのひとつに、犬達の不妊去勢手術がありました。つまり、多くの犬達を保護した場合、雌雄の隔離を行なわなければ、確実に犬達は繁殖してしまいます。保護場所で繁殖が行なわれるのでは、現状の犬猫の問題解決にはなりません。当時の報道では、「不妊手術は行なっている」とされていましたが、その後の報道から、過半数が手術されていないのではないかという不安を禁じ得ませんでした。

私達は、動物にも生存権があることを、一人でも多くの人達に解って頂くことを目的としております。犬猫の年間殺処分数（80万頭）を見れば、一番身近な犬猫に対して、如何に安易に「死」を与えているかが分かります。私達は、雲仙の被災犬猫達の収容施設の他は、直接運営にかかわっている収容施設を持っていません。犬猫の保護は、会員の中で個人的に収容・里親探しをしています。現在の日本で、民間団体が収容施設を持つには時期尚早と考えるからです。つまり、現状ではあまりにも犬猫に対するモラルに欠けるため①収容施設は我儘な飼い主を増長させ、「不用品持ち込み場所」となる恐れが強い事②動物の健康管理を行なうには専従の獣医師が必要な事、③収容施設の維持費用捻出方法の難しさ、からです。

本多さんが以前雑誌でおっしゃっていたように、今までの愛護団体は実践的なことを行なっていないと見えるかもしれません。しかし、現実的に80万頭の犬猫（東京都だけで4万頭）の保護は、残念ながら不可能です。表には見えませんが、1人の人が年間に10頭保護し不妊去勢・里親探しを行なう草の根運動は、確かに手応えのある大きな活動と思います。華やかさはありませんが、100人の人達が行えば、個人の多大な負担なく、年間千頭の保護ができるのです。

先日、お伺いするまでは、様々な報道からの犬達の置かれている状況については、疑問に留まっていました。しかし、現在は残念ながら、不妊去勢手術のみならず、収容施設の改善が急務と考えます。下を見れば切りがない事は分かります。保護依頼の多さも、保護しなければ保健所へ持ち込むという脅迫もあるでしょう。しかし現状の「しおさいの里」